

元・広島東洋カープ投手「北別府 学氏」追悼集会 校長講話

おはようございます。3分の予定でしたが、5分ほどお話します。

今、映像でみていただいた「北別府学さん」が6月16日にお亡くなりになりました。北別府さんは本校の卒業生ですが、今まで知らなかったという人も多いかもしれません。また、本校の玄関には北別府さんの写真やサイン色紙が、これまでも常に見えるように置いてあったのですが、気付かなかった人もいます。

本日の追悼集会は、北別府さんのご冥福を全校生徒でお祈りすることはもちろんですが、日本を代表する偉大なプロ野球選手が誕生した学校であることを皆さんに覚えてもらうことを期待して実施することにしました。そして、ここにいる生徒の皆さん一人ひとりが、日本野球界の歴史に偉大な功績を残した北別府学さんの後輩であるということを誇りにし、先輩に恥ずかしくない人となってほしいと願っています。

本来、追悼集会では、黙祷から始まり、あいさつや亡くなられた方の功績を紹介するという順序が普通だと思いますが、北別府さんがどのような方だったのかを知ってからのほうが、黙祷に心を込めることができると思い、順序を変えました。

ところで、北別府学さんは野球殿堂入りされた2012年に本校で講演をされていらっしゃるんですが、創立100周年目となる2016年2月にも本校のためにお忙しい時間を割いて、本校で講演をしていただきました。当時、教頭だった私を含め、現在本校にいらっしゃる数名の先生方はその講演を実際に聴かせていただいています。

その講演の冒頭で、「皆さんは、私のことを知らないでしょう。だから、まず、広島の放送局が制作した映像をみてもらいます。」という言葉から講演を始められました。その映像が先程のものです。

私たちの年代ではスーパースターですが、当時の生徒に対して「みんな、自分のことを知ってるだろう。」というのではなく、「皆さんは、私のことを知らないでしょう。」という謙虚な言葉から始まったことで聴いている生徒が引き込まれていったように見えました。

その講演では、高校生の時の九州大会で、誰一人1塁ベースを踏ませなかった完全試合を達成した話はもちろんのこと、ドラフトで指名された選手がみんな芽が出る訳でなく、辞めざるを得ない選手も少なくない等、プロ野球界の厳しい現実についてもお話いただきました。

ちなみに、完全試合を達成した時の記念の絵皿も玄関に飾ってありますので、ぜひ見てください。

また、ご自身の体験談として、曾於市末吉町から片道20kmを「毎日自転車で通学する中で、3台の自転車を乗り潰した。」ということや、「3年間の自転車通学で、プロ野球選手として通用する足腰が鍛えられた。」ということもお話してくださいました。

偉大なプロ野球選手となる基礎が特別なトレーニングではなく、毎日の自転車通学が役立ったという話は、聴いていた当時の生徒の胸に響いたと思っています。

その当時の校長であった上池泰廣先生も本校卒業生で、北別府さんと3年間同じクラスだったとのことですが、北別府さんは、かつての同級生に対しても、とても礼儀正しい態度で接しておられました。

一流の人というは、言葉も態度も行動も一流であることを学ばせていただいたと思います。65歳という、これからも活躍できる場がたくさんあるご年齢で、この世を去られたことは本当に残念です。

本日は短い追悼集会ではありますが、この後の黙祷では北別府学さんのご冥福をお祈りするとともに、北別府学さんと母校を同じくする後輩の一人であるという気持ちを胸に刻む瞬間にしてください。

以上で終わります。

令和5年6月19日
宮崎県立都城農業高等学校
校長 山下 勉